

第6学年 家庭科

月	単元・題材名	時数	学習活動
教科目標 (1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚すると切実に気付くようにする。 (2) 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。 (3) 自分と家族などのかかわりについて考え、実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする			
4	1 くふうしよう朝の生活 ① 生活時間を見直そう ② 共に過ごす時間をつくろう ③ 朝食を考えよう	15	<ul style="list-style-type: none"> ● 1日の生活時間を調べ、見直す。何のために、どのように時間を使っているか見直していくようにする。 ● 家族と共に過ごす時間や朝の生活時間を工夫する。家庭環境に十分配慮しながらその子なりの工夫を認めていくようにする。 ● 栄養のバランスがとれた朝食のおかずを考える。ごはんのみそ汁、またはパンと飲み物に合ったおかずを考え、栄養のバランスがとれているか確認していくようにする。 ● 朝食のおかずづくりの計画を立て、必要な材料を準備する。 ● 材料の買い方、選び方、保存のしかたを調べ、実習に生かすようにする。(フライパンを安全に使って)朝食のおかずを調理する。油でいためる調理のよさや注意点がわかり、フライパン
5	2 きれいにしよう クリーン大作戦 ①身のまわりの汚れを調べてみよう ②そうじをしてきれいにしよう ③トライ エコ生活	15	<ul style="list-style-type: none"> ● どんどころにどんなよごれがあるか調べる。生活のしかたや場所により、よごれの種類やよごれがちがうことに気づくようにする。 ● 身近な場所のよごれに合ったそうじのしかたを考え、発表する。そうじの方法や手順について調べたり、工夫について話し合うようにする。 ● ごみを減らし、資源を大切にすくらし方を考える。地域のごみの分別方法やリサイクル・リユースについて調べたりして、自分の生活に合った方法で取り組んでいくようにする。
6・7	暑い季節を快適に ①すずしい住まい方を工夫しよう ②そうじをしてきれいにしよう ③トライ エコ生活	8	<ul style="list-style-type: none"> ● 暑い季節を快適に過ごすための住まい方や着方について話し合う。教科書や写真を提示しながら、住まい方や着方に関心をもつようにする。 ● すずしい住まい方を調べ、自分の家でできることを話し合う。すずしくする住まい方の工夫や冷房器具の上手な利用のしかたの例などを調べ、生活に生かしていくようにする。
	◆ チャレンジコーナー		● 休日や夏休みなどに家庭実践をする。
9	4 生活を楽しくしよう ソーイング ①作りたい物を考え計画しよう	10	<ul style="list-style-type: none"> ● 布を使って生活が楽しくなる物を考え、計画を立てる。身近にある布で作られた物を調べ、生活に役立つ物を考えるようにする。 ● 試しに紙などで作ってみて、形や大きさなどを決めるとよい。

10	③ 楽しく使おう		<ul style="list-style-type: none"> ● 製作計画を確認し、工夫して製作する。作品見本や段階標本を参考にして、工夫して製作することができるようにする。時間ごとに各自のめあてと進行状況を把握して、適切に支援していくようにする。 ● 製作をふり返り、工夫したことや使ってみての感想などを話し合う。実際に使ってみて、よかった点や役立ったことについてもまとめるようにする。 	○ ○ ○ ○ ○ ○
11・12	5 くふうしよう 楽しい食事 ① バランスのよいこんだてを考えよう ② 身近な食品でおかずをつくらう ③ 家族と楽しく食事をしよう	12	<ul style="list-style-type: none"> ● (ごはんのみそ汁を中心にした)1食分の献立を考える。献立の考え方を参考に、栄養のバランスや色どり、味つけを考えて立てるようにする。 ● 立てた献立の栄養のバランスを確かめる。 ● 3つの食品のグループに分けて、献立を見直し、食品を加えたり、別のおかずを助言したりする。 ● 身近な食品を組み合わせて、計画を立て、おかずをつくる。(じゃがいもを例に)同じ食品でも調理のしかたによっていろいろな料理ができることに気づくようにする。調理の時間配分や手順を工夫し、計画を立て、調理に取り組むようにする。 ● 家族と楽しく食事ができるよう考える。食事のはたらきやマナーなどを知らせ、家庭で生かすようにする。 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	◆ チャレンジコーナー		● 休日や冬休みなどに家庭実践をする。	
1・2	6 考えよう これからの生活 ①わたしたちの生活と環境 ②感謝の気持ちを伝えよう ③人びとや環境とのかかわり	9	<ul style="list-style-type: none"> ● (教科書の図を見ながら)身近な生活の環境について、気がついたことを話し合う。気づいたことを発表しながら、自分の生活のしかたと環境とのかかわりを見つめ直していくようにする。 ● 身近な人びとへ感謝の気持ちを伝える方法を考え、実践する。これまでの学習を生かして、その子なりに考えた方法で実践していくようにする。 ● 人びとや環境とのかかわりで、自分にできることを考え、よりよい生活をしようと、実践する。家族や地域の一員として人や環境に配慮した生活をめざせるよう支援する。 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
3	成長したわたしたち	1	☆2年間の学習をふり返り、生活の中でできるようになったこと、工夫していること、また、これらを生かして今後どうしていきたいかなどを発表する。 ・成長を実感し、さらによりよい生活をめざしていくよう助言する。	

ともに、家庭生活への関心を高め、その大
にする。
実践的な態度を育てる。

評価規準

家族に協力し、家庭生活をよりよくしよう
としている。【関】
自分の生活時間の使い方を見直し、有効
に使う方法を考えたり、自分なりに工夫をし
ている。【創】
朝食に関心をもち、簡単なおかずを調理
しようとしている。【関】
朝食に合う簡単なおかずを工夫してい
る。【創】
いためる調理法で、朝食に合うおかずを
作ることができる。【技】
いためる調理法について理解している。
【知】

清掃に関心をもち、身の回りを快適に整
えようとしている。【関】
よごれや場所に合うそうじのしかたにつ
いて考えたり、自分なりに工夫している。
よごれや場所に合うそうじをすることがで
きる。【技】
よごれや場所に合うそうじのしかたにつ
いて理解している。【知】
ごみのしまつや不用品の活用のしかたを
工夫し、環境を考えた生活のしかたを工夫
している。【創】
ごみのしまつや不用品を活用することが
できる。【技】
ごみのしまつや不用品の活用のしかたが
わかる。【知】

すずしい住まい方や着方に関心をもち、
快適な過ごし方について考えようとしてい
る。【関】
すずしい住まい方について理解している。
【知】
暑い季節をすずしく清潔に過ごす着方を
しようとしている。【関】
暑い季節をすずしく快適に過ごすための
着方を自分なりに考えたり、工夫している。
【創】
日常着の手入れに関心をもち、衣服を大
切に扱い、気持ちよく着るために手入れを
しようとしている。【関】
清潔で気持ちよい衣服の着方について理
解している。【知】
日常着を点検し、課題を見つけ、気持ち
よく着るための手入れについて考えたり、
自分なりに工夫したりする。【創】

布や生活に役立つ物の製作に関心をもち
ている。【関】
製作に必要な材料や用具等を準備し、見
直しをもって製作しようとしている。【関】
家庭生活での布の活用について見直し、
製作する物やその製作計画について考え
たり、自分なりに工夫したりしている。【創】

目的に応じた縫いや手順などを考えたり工夫したりしている。【創】
 目的に応じて手縫いやミシンを用いた直線縫いで製作ができる。【技】
 製作に必要な用具の安全な取り扱いができる。【技】
 製作に必要な用具の安全な取り扱い方について理解している。【知】
 製作した物を自分の生活で活用し、改善点を考えたり、自分なりに工夫したりしている。【創】

毎日の食事に関心をもち、1食分の献立を立てようとしている。【関】
 身近な食品を使って調理しようとしている。【関】
 食事の役割を考え、整えようとしている。【関】
 栄養のバランスを考え、食品を組み合わせ1食分の献立を工夫している。【創】
 栄養のバランスを考えた1食分の献立の立て方について理解している。【知】
 調理に必要な材料や手順を考え、調理計画を自分なりに工夫している。【創】
 計画にそって工夫して調理している。【創】
 材料や目的にあった調理のしかたがわかる。【知】
 家族との楽しい食事を工夫しようとしている。【創】
 食事の役割や大切さについて理解している。【知】
 楽しく食事をするためのマナーについて理解している。【知】

自分の生活のしかたと身近な環境とのかかわりに関心をもっている。【関】
 身近な環境をよりよくしようとしている。【関】
 近隣の人びとのかかわり方について関心をもっている。【関】
 近隣の人びとのかかわり方や気持ちの伝え方について理解している。【知】
 身近な環境をよりよくするための方法を工夫している。【創】
 自分の生活と環境とのかかわりについて理解している。【知】
 自分の生活のしかたを見つめ、よりよい生活のしかたを工夫している。【創】
 環境を考えた生活のしかたについて理解している。【知】

【知】2年間の家庭科で学んだことの活用のしかたがわかる。
 【関】2年間の家庭科学習をこれからの生活に生かそうとしている。